

新入生合宿研修を終えて

摂食機能再建学 金 田 恒

例年になく早咲きであった桜が満開もすぎた4月6、7の2日間、新入生合宿研修が新潟大学歯学部と赤塚にあるウエルサンピア新潟（新潟厚生年金スポーツセンター）の2会場にて行なわれました。

学務委員会委員長の前田教授を隊長に、各委員会から、吉江教授（学務委員会）、興地教授（臨床実習専門委員会）、富沢助教授（セクハラ相談委員）、小野助教授、鈴木（政）、大島（邦）講師（以上学生生活専門委員会）、小林（正）助手（院内感染対策委員会）～いろいろな委員会があるものですネ～、そして協力者という名のもとに藤井助手（加齢・高齢者歯科学）、井上（佳）助手（顎顔面解剖学）、私が召集され、新入生、学生アシスタント総勢72名の一行で研修が始まりました。

私も10年ちょっと？ 前にこの合宿研修に新入生として参加した記憶がありますが、思うことは「あの合宿ね～」のみ（このコメントで察していただくとありがたいのですが…）。なぜ協力者として選ばれたのかわからないまま（一説によると酒が飲める女性教官だから？）参加することになってしまいました。新入生合宿研修にあまり良いイメージのない私が合宿プログラムをもらった時驚きました。以前の研修内容とまったく違うのです。難しそうな項目が羅列されているではないですか。理解できた項目は夕食（懇親会）と翌日のレクリエーションのみという有り様です。

さて、1日目午前中は歯学部大会議室で全体ガイダンス、自己啓発セミナー1でした。一瞬「え!? 宗教?」と怪しいタイトルに反応してしまいましたが、中身は予想とは違いました。まず、新入生同志の人物紹介（タコ紹介）から始まりました。次に新入生は全員、入試で面接試験を受けており、その面接試験に対するディスカッションが行なわれました。初顔合わせということから遠慮がちな部分も見受けられましたが、時間が経つにつれ議

論も白熱し、若さ独特の賑やかさが発揮されました。その後のグループ発表も上手くこなしており、大変楽しませてもらうとともに教官側には考えさせられるものもありました（本来、研修とはこういうものなのですね、以前の研修は何が目的だったのでしょうか?）。

昼食をはさみ、会場をウエルサンピアに移して、自己啓発セミナー2が行なわれました。Program Based Learning方式で、「これからの6年間をいかに過ごすべきか」について小野助教授作製のシナリオ「新潟太郎」を元に自己啓発セミナー2では考えました。何が一番びつくりしたかといえば、入学したばかりであるにもかかわらず、彼等がもう、歯学部の学生として、または歯科医師を目指す者として、という自覚があることでした。なんとなくではなく明確な意志をもって将来を選んだ彼等の独特なエネルギーが今後どのように発揮されるかとても期待されます。

セミナー終了後、豪華な夕食の懇親会時には恒例の歯学部の各クラブによる勧誘パフォーマンスがあり、その後とある教官の部屋で、これからが本音トークと言わんばかりの裏懇親会が催され（花田学部長には多大な御配慮を賜りました）、学生と教官が年齢のカベを感じさせない時間を深夜まで過ごし、親交を深めました。

翌日、体力の差? でしょうか、教官は魂の抜けたような様子を少し漂わせ、学生はレクリエーションを楽しみ、2日間の研修は無事終了しました。

一昨年から現在の会場になったと聞きましたが、以前は山奥の古い施設でした。今回参加して、プログラムの充実、学生の強い自覚、利用施設の差、そして指導教官の若返り? に10年ひと昔とは良くいったものだと感じました。新入生にとっては、これから学生生活を共にし、何かの問題が起こり、挫けそうになったとき、力になってくれ

る仲間とのスタートにふさわしい合宿研修だった
と思います。また教官にとっても日頃得にくい学
生の本音を得ることもでき、貴重な機会となった

新入生合宿研修でした（この研修の報告書は学務
係に保管してありますので、興味のある方は御一
覧下さい。）。

